

高等学校地理歴史科（世界史）採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

	問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1	1		6
	2	5		6
	3	4		6
	4	3		6
	5	4		6
	6	4		6
	7	2		6
	8	5		6
	9	8		6
	10	3		6
	11	3		6
	12	5		6
				72
2	1	2		6
	2	3		6
	3	1		6
	4	2		6
				24

高等学校地理歴史科（世界史）採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

	問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
3	1	3		6	24
	2	3		6	
	3	5		6	
	4	4		6	
4	1	3		6	24
	2	3		6	
	3	1		6	
	4	5		6	
5	1	2		6	12
	2	4		6	

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 〔例〕	採 点 上 の 注 意	配 点
6	1 資料Ⅱから、アメリカの第一次世界大戦参戦に伴って、女性が従軍していることが分かり、資料Ⅲから、大戦時に女性が軍需産業に動員されていることが分かる。このように、第一次世界大戦は国民と国力を総動員する戦争であったため、女性の戦争参加とともに女性の労働市場への参入が進んだ。また、これまで州単位で実現しつつあった女性参政権を求める運動は、資料Ⅰの1917年における事態に見られるような高まりを見せ、連邦議会としてもこの状況を無視できなくなったため。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	7
	2 資料Ⅳのとおり、1914年から1919年にかけて対外負債が減少し在外資産勘定が増加しており、1914年に始まった第一次世界大戦を契機に、アメリカに資本が流入し、アメリカは債務国から債権国へと転じた。この資本流入が原因で、資料Ⅴ及びⅥのとおり、アメリカでは製造工業の生産量が拡大するとともに、一人当たりの国民所得が増えたことにより、国民の購買力が高まったため。		8
7	1 (C)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	2 年表のとおり、オランダは、1619年にバタヴィアを根拠地としてポルトガル商人を排除しつつ貿易の実権を握り、さらに1623年のアンボイナ事件を転機にイギリスの勢力をインドネシアから締め出すなどして、バタヴィアを根拠地としてアジア諸地域におけるオランダ領東インドの基礎を固めていった。 また、年表のとおり、中国では、1616年にヌルハチが後金を建国して1644年に明が滅び、1661年に鄭成功が台湾を占領したことなどから、景德鎮の産地である中国はこの時期混乱し、オランダと中国との貿易は困難になっていた。 さらに、日本では、1639年に江戸幕府によりポルトガル船の来航が禁止されたが、鎖国体制へと移行した1630年代以降もオランダは対日貿易を許されていた。 このように、オランダはアジア諸地域におけるオランダ領東インドの基礎を固めて積極的に貿易しようとした時期に、混乱状態にあった中国との貿易が困難であった一方で、日本との貿易が可能であったため。		10
	3 生徒はアジアの商館と発言するべきところをヨーロッパの商館と発言していることから、この時期のオランダ東インド会社は、ヨーロッパ・アジア間の貿易だけでなく、アジア域内の貿易も行っていたことについて理解していないものと考えられる。 そこで、資料Ⅰから、銀以外の輸出額に占める香辛料の送り状価格の比率が小さいこと、資料Ⅱから、ヨーロッパ銀貨の送り状価格が高いこと、貿易の支払いにヨーロッパ銀貨を多く使っていることを読み取らせ、これらの資料がバタヴィアとヨーロッパ商館との取引についての資料ではないことに気付かせる。 その上で、貿易の支払いにヨーロッパ銀貨を多く使っていることに再度着目させ、この時期のオランダ東インド会社は、本国からの投資とヨーロッパ・アジア間の貿易で得たヨーロッパ銀貨によって、アジアの商館への支払いを行い、アジア域内の貿易でも利益を得ていたことを理解させる。		14